

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学 校 名 茨 城 県 立 並 木 中 等 教 育 学 校  
(※正式名称を記載)  
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注 1</sup>  
☐ 中学校 ☒ 中高一貫<sup>※注 2</sup> ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他（例：小中高一貫 \_\_\_\_\_）  
所在地 〒 305      -      0044  
            茨城県つくば市並木 4 - 5 - 1  
E-mail http://www.namiki-cs.ibk.ed.jp  
Website koho@namiki-cs.ibk.ed.jp  
幼児児童生徒数 男子 480 名      女子 480 名      合計 960 名  
                    幼児・児童・生徒の年齢 11 歳～18 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「Be a Top Learner」を学校理念として、  
E S D を教育活動の大切な柱の一つと捉え、E S D の実践を通してグローバルリーダーの力の育成を目標とした。

具体的には、「理数探究」を柱に、①食育に係わる活動、②国際理解、文化多様性に係る教育、③地域の伝統文化、文化遺産に係わる学習、④健康・福祉に係わる学習を行った。

### ① 食育

2 年次生は、県の畜産センターに全員で赴き、酪農の大変さ・バター作りなど食に関する第 1 次産業を実地体験し、レポートにまとめ、全員が発表した。

## 国際理解、文化多様性に係わる教育

海外語学研修に4年次生徒の90%が参加。また、マレーシア・韓国・NZからの日本修学旅行生を本校に受け入れ、異文化交流。5年次生は、台湾に修学旅行に行き、アジアの中の日本を意識する活動を行った。



## ② 地域の伝統文化、文化遺産に係わる学習

1年次は、自分の出身地について「祭り・伝統・文化」などについて模造紙一枚にまとめ、文化祭でプレゼンテーションを行った。



## ③ 自分の町について発表





④ ウォークラリー

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度

<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入	)

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(海外研修及び海外修学旅行)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

それぞれの生徒が異なる研究テーマを持つため、共通の書籍は使っていない。
-------------------------------------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

<p>○4年次以降の理数探求に繋がるよう、特にテーマ設定に重きを置き、課題発見能力、情報収集能力・活用能力、課題解決能力を育成する。</p> <p>○ユネスコスクールとしての理念の理解を深め、持続可能な開発のための教育の一環として研究を進める。</p> <p>○1年次からミニ課題探究活動として広いテーマから身近なテーマへ（マクロからミクロへ）思考を深められるよう、各年次で探究活動を行っている。</p> <p>○個人発表、グループ発表はもちろん、テーマ設定能力の育成を図るために各年次でユネスコのテーマを念頭に置いて、総合の時間および4年次の理数探究につなげる指導を長期的に実施している。</p>
---

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

<p>校内研修で、全教員に探究活動とは何か、ユネスコの13のテーマについてのレクチャーを行い、理解を共有している。</p> <p>また、入学生徒には、本校がユネスコスクールであることの意味や取り組みを分かりやすく解説する授業を設け、単に調べ学習に終わらないように指導している。</p>
--

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

・ 人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと。  
・ 他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育むこと。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

推進拠点としては意識的には広報は行っていないが、本校のＨＰや取り組みが地域や保護者に認められ、年々質の高い生徒が集まり、学び合う雰囲気醸成できている。

本校の理数探究での論文は、全生徒が３年間かけて研究を行い、全職員が研究のアドバイザーとしてゼミを展開し、広くＥＳＤ教育を展開している。これにより、生徒の進路実現に多大な良い影響を与えている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ＥＳＤ活動支援センター、ＥＳＤコンソーシアムとの連携など）（２００字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

つくば市の市民課・子ども課の職員の方に来ていただき、地域社会が持つ問題点について話し合う機会を設けた。そこから、３年次生徒が問題点と解決案をグループで話し合い、一年間かけてグループ研究を行った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）

特になし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

特筆すべきは、1年次から6年次の生徒全てが何らかのユネスコのテーマで探究活動を行っていることである。SSH指定校でもあるため、詳細はここには書ききれないが、環境・生物多様性・気候等々様々なテーマで本格的な研究を行い、全国レベルで表彰されている。また、文系テーマでもたとえば「ええじゃないか運動は実際にどのような踊りだったのか」といった深い学びを研究している生徒も出ている。  
国際教育も非常に盛んで、今後はベトナム修学旅行も企画している。

（3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- ① 4月4日に全職員に向け、ユネスコスクールについて研修を実施予定。本校がこれまでに取り組んできたものや、今後取り組むべきものを全教職員で共有する。  
② 6月の文化祭で、1年生は例年通り自分の郷土についてプレゼン。  
③ 1年次から6年次までユネスコのテーマ及びそのほかの理系・文型テーマで研究を実施。  
④ 4年次はニュージーランド語学研修参加。  
⑤ 5年次は台湾修学旅行実施。  
⑥ 多くの留学生を受け入れ。  
⑦ 他国からの修学旅行生の受け入れ。